



## 平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年11月12日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 フライトホールディングス  
コード番号 3753 URL <http://www.flight-hd.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 片山 圭一郎

問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役副社長 (氏名) 松本 隆男

TEL 03-3440-6100

四半期報告書提出予定日 平成27年11月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成28年3月期第2四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	444	△32.6	△222	—	△238	—	△240	—
27年3月期第2四半期	659	—	△65	—	△67	—	△67	—

(注) 包括利益 28年3月期第2四半期 △240百万円 (—%) 27年3月期第2四半期 △67百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第2四半期	△25.38	—
27年3月期第2四半期	△7.19	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年3月期第2四半期	1,053	233	22.2	24.74
27年3月期	1,446	473	32.8	50.12

(参考) 自己資本 28年3月期第2四半期 233百万円 27年3月期 473百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
28年3月期	—	0.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	2,100	31.9	60	—	30	—	25	2.64

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P. 2「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項「会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年3月期2Q	9,456,500 株	27年3月期	9,456,500 株
28年3月期2Q	829 株	27年3月期	829 株
28年3月期2Q	9,455,671 株	27年3月期2Q	9,455,671 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	2
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	2
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	2
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	2
3. 四半期連結財務諸表	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	4
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策等により雇用及び所得環境が改善され、緩やかな回復基調にありましたが、中国経済の減速懸念等により、先行き不透明な状況にあります。

このような状況の中、当社グループは、物流企業向けのシステム開発や社会保障・税番号制度（マイナンバー）対応に係るシステム開発支援等を行うとともに、電子決済ソリューション（「Incredist」及び「ペイメント・マイスター」）の販売及び次世代機の開発に注力いたしました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高444百万円（前年同期比32.6%減）、営業損失は222百万円（前年同期は営業損失65百万円）、経常損失は238百万円（前年同期は経常損失67百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は240百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失67百万円）となりました。

（単位：百万円）

	当第2四半期	前第2四半期	前年同期比	
			増減額	増減率
C&S事業(*)	281	281	0	0.2%
サービス事業	157	378	△221	△58.5%
ECソリューション事業	14	—	14	—
調整額	△9	—	△9	—
売上高	444	659	△215	△32.6%
C&S事業(*)	△2	△6	4	—
サービス事業	△63	43	△107	—
ECソリューション事業	△31	—	△31	—
調整額	△125	△102	△23	—
営業損益	△222	△65	△156	—
経常損益	△238	△67	△171	—
親会社株主に帰属する四半期純損益	△240	△67	△172	—

(\*) C&S事業：コンサルティング&ソリューション事業

セグメントの業績は次のとおりであります。

## ① コンサルティング&amp;ソリューション事業

コンサルティング&ソリューション事業においては、既存顧客を中心としたシステム開発及び保守、物流企業向けのシステム開発並びに社会保障・税番号（マイナンバー）対応に係るシステム開発支援等を行いました。

引き合い状況は堅調であり、売上及び営業損益は概ね計画通り進捗しております。

以上の結果、売上高は281百万円（前年同期比0.2%増）、営業損失は2百万円（前年同期は営業損失6百万円）となりました。

## ② サービス事業

サービス事業においては、電子決済ソリューション（「Incredist」及び「ペイメント・マイスター」）の販売・提案活動、並びに「Incredist」の次世代機の開発に注力いたしました。

前上期に大型案件の追加納品があったことから、前年同期比では減収減益となりましたが、新規案件の納品及び前期以前に納品した大型案件の保守対応により、売上及び営業利益は概ね計画通り進捗しております。

以上の結果、売上高は157百万円（前年同期比58.5%減）、営業損失は63百万円（前年同期は営業利益43百万円）となりました。

## ③ ECソリューション事業

ECソリューション事業においては、B2B向けECサイト構築パッケージ「EC-Rider B2B」の開発及び販売に注力いたしました。収支につきましては、事業立ち上げのため、固定費が先行して発生しており、営業損失を計上することとなりました。

以上の結果、売上高は14百万円、営業損失は31百万円となりました。

## (2) 財政状態の分析

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比べ392百万円減少し、1,053百万円となりました。主な増減要因は、売掛金の減少（265百万円減）、現金及び預金の減少（154百万円減）であります。

負債は、前連結会計年度末と比べ152百万円減少し、819百万円となりました。主な増減要因は、買掛金の減少（121百万円減）及び借入金の返済による減少（40百万円減）であります。

純資産は、前連結会計年度末と比べ240百万円減少し、233百万円となりました。主な増減要因は、親会社株主に帰属する四半期純損失の計上（240百万円）であります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、概ね当初計画通りに進捗していることから、平成27年5月19日の「平成27年3月期 決算短信」で公表した通期の連結事業予想に変更はありません。

なお、当期は、下期に大型案件の納品を計画しており、売上が下期偏重となる見込みです。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

## (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

## (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

## (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（企業結合に関する会計基準等の適用）

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日）等を第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間については、四半期連結財務諸表の組替えを行っております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	704,845	550,076
売掛金	392,062	126,277
商品	11,269	24,765
仕掛品	21,663	11,523
その他	43,351	55,403
貸倒引当金	△700	△200
流動資産合計	1,172,492	767,845
固定資産		
有形固定資産	4,632	23,148
無形固定資産		
のれん	13,777	12,274
その他	15,387	12,564
無形固定資産合計	29,164	24,838
投資その他の資産		
長期貸付金	75,000	75,000
投資不動産(純額)	196,447	195,904
その他	43,397	42,041
貸倒引当金	△75,000	△75,000
投資その他の資産合計	239,844	237,945
固定資産合計	273,642	285,933
資産合計	1,446,134	1,053,779
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	167,608	46,116
短期借入金	484,348	450,598
未払法人税等	3,426	4,959
賞与引当金	4,810	5,124
受注損失引当金	10,500	—
その他	54,441	73,655
流動負債合計	725,134	580,453
固定負債		
長期借入金	236,459	229,355
その他	10,599	10,037
固定負債合計	247,058	239,392
負債合計	972,192	819,846
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,205,123	1,205,123
資本剰余金	1,195,798	1,195,798
利益剰余金	△1,925,704	△2,165,714
自己株式	△1,275	△1,275
株主資本合計	473,942	233,932
純資産合計	473,942	233,932
負債純資産合計	1,446,134	1,053,779

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	659,347	444,228
売上原価	507,500	381,465
売上総利益	151,847	62,763
販売費及び一般管理費	217,183	285,083
営業損失(△)	△65,335	△222,320
営業外収益		
受取利息	802	787
受取賃貸料	1,066	1,155
為替差益	5,594	—
その他	71	244
営業外収益合計	7,535	2,187
営業外費用		
支払利息	6,352	15,265
不動産賃貸原価	2,625	2,547
その他	362	623
営業外費用合計	9,340	18,436
経常損失(△)	△67,141	△238,569
税金等調整前四半期純損失(△)	△67,141	△238,569
法人税、住民税及び事業税	821	1,440
法人税等合計	821	1,440
四半期純損失(△)	△67,962	△240,009
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△67,962	△240,009

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
四半期純損失(△)	△67,962	△240,009
四半期包括利益	△67,962	△240,009
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△67,962	△240,009

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純損失(△)	△67,141	△238,569
減価償却費	1,713	6,975
支払利息	6,352	15,265
売上債権の増減額(△は増加)	20,537	265,785
たな卸資産の増減額(△は増加)	△29,690	△3,276
仕入債務の増減額(△は減少)	20,608	△121,491
その他	17,924	△10,781
小計	△29,694	△86,092
利息及び配当金の受取額	802	787
利息の支払額	△6,315	△15,252
法人税等の還付額	—	7,437
法人税等の支払額	△20,857	△570
営業活動によるキャッシュ・フロー	△56,064	△93,690
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△5,650	△20,143
その他	—	△82
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,650	△20,225
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△31,070	△33,750
長期借入金の返済による支出	△4,446	△7,104
財務活動によるキャッシュ・フロー	△35,516	△40,854
現金及び現金同等物に係る換算差額	5,749	0
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△91,481	△154,769
現金及び現金同等物の期首残高	974,563	704,845
現金及び現金同等物の四半期末残高	883,081	550,076

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	コンサルティング &ソリューション事業	サービス事業			
売上高					
外部顧客への売上高	281,049	378,298	659,347	—	659,347
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	281,049	378,298	659,347	—	659,347
セグメント利益又は損 失(△)	△6,894	43,732	36,837	△102,173	△65,335

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△102,173千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

## II 当第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	コンサルティング &ソリューション 事業	サービス事業	ECソリューション事業			
売上高						
外部顧客への 売上高	281,693	157,018	5,516	444,228	—	444,228
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	—	—	9,099	9,099	△9,099	—
計	281,693	157,018	14,615	453,327	△9,099	444,228
セグメント損失 (△)	△2,012	△63,506	△31,511	△97,030	△125,289	△222,320

(注) 1. セグメント損失(△)の調整額△125,289千円は、セグメント間取引消去148千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△125,437千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントの変更等に関する事項

前第3四半期連結会計期間において、第三者割当増資引受けにより子会社化した株式会社イーシー・ライダー(平成26年11月1日付で「株式会社DRAGON TECHNOLOGY」より商号変更)の事業を「ECソリューション事業」として、前第3四半期連結会計期間より、新たに報告セグメントの区分に追加することといたしました。

「ECソリューション事業」は、B2B向けECサイト構築パッケージ「EC-Rider B2B」の開発及び販売、並びに本パッケージ導入に係るコンサルティングやシステム開発及び保守を行っております。